

パキスタン・イスラム共和国
パンジャブ州農民参加型
灌漑農業強化プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成23年10月
(2011年)

独立行政法人国際協力機構
パキスタン事務所

パキ事
J R
11-006

パキスタン・イスラム共和国
パンジャブ州農民参加型
灌漑農業強化プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成23年10月
(2011年)

独立行政法人国際協力機構
パキスタン事務所

序 文

パキスタン・イスラム共和国は、国土の大部分が年間平均降水量 500mm 以下の乾燥地帯であり、耕地面積の約 8 割が灌漑地域となっています。国内最大の灌漑面積を有するパンジャブ州は小麦や綿の国内生産の約 8 割を占めています。英国植民地時代に建設された灌漑システムでは、人口の増加や作付け体系の変化を受けた現在の灌漑需要に対応することが難しい状況にあります。このような状況の下、実施中の円借款事業「パンジャブ州灌漑システム改善事業」との連携をとおした水利組織の強化と、節水技術及び農業普及を加えた参加型灌漑農業強化のモデル作成を目的とした技術協力プロジェクト「パンジャブ州農民参加型灌漑農業強化プロジェクト」が 2009 年 3 月から 4 年間の予定で開始されました。

今般、プロジェクトの中間地点を迎え、プロジェクトの達成状況を整理・把握して評価を行い、協力期間の終了までのとるべき措置について提言を行うことを目的として、2011 年 2 月 6 日～2 月 22 日にわたり、国際協力機構金森秀行国際協力専門員を団長とする中間レビュー調査団を派遣しました。

本報告書は、同調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクト展開に広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表すとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成 23 年 10 月

独立行政法人国際協力機構
パキスタン事務所長 西片 高俊

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

評価調査結果要約表（和文、英文）

第1章 評価調査団の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
1-5 中間レビューの方法	4
第2章 プロジェクトの背景と概要	5
2-1 プロジェクトの背景	5
2-2 プロジェクトの概要	6
第3章 計画達成度	8
3-1 投入実績	8
3-2 成果達成状況	9
3-3 プロジェクト目標達成の目処	12
3-4 実施プロセスにおける特記事項	13
3-5 専門分野に係る特記事項	14
3-5-1 農民組織	14
3-5-2 節水灌漑 / 圃場水管理	15
3-5-3 研修	17
3-6 円借款事業との連携に係る特記事項	18
第4章 評価結果	21
4-1 評価5項目による評価	21
4-2 総合判定	24
第5章 結論、提言、教訓	25
5-1 結論	25
5-2 提言	25
5-3 教訓	27

付属資料

1. 合同評価報告書	31
2. 合同調整委員会議事録	79
3. 評価グリッド	86
4. 評価グリッド結果	92
5. 改定前 PDM・PO	98
6. 改定後 PDM・PO	100
7. 時限行動計画（TBAP）最新版	102
8. プロジェクト実施体制	105
9. カウンターパート一覧	107
10. 日本人専門家一覧	112
11. 本邦研修一覧	113
12. プロジェクト活動経費実績、機材投入実績	114
13. TOT 研修実績	115

地圖

